

住友生命創業100周年記念事業『未来を築く子育てプロジェクト』助成事業
NPO法人あい・ぽーとステーション

<全国自治体職員向け研修（第V期）>



～テーマ～

東日本大震災をきっかけとして、 子どもの視点からの復興・まちづくりについて考える

- <日 時> 2012年1月14日（土）10時00分～16時30分
- <場 所> 東京都港区立青山小学校 （東京都港区南青山2-21-2）
子育てひろば「あい・ぽーと」 （東京都港区南青山2-25-1）
- <対 象 者> 全国の都道府県・市区町村の子育て支援行政担当者、
復興支援に高い関心をお持ちの各地の子育て・子ども支援関係者、他
- <参 加 費> 2,000円
（内訳：資料代@1,000円、情報交換会費@1,000円）
※ 昼食をご希望の方は、実費〔700円程度〕でご用意いたします。
- <定 員> 200名
- <申込方法>

別紙（4ページ目）の申込用紙にある必要事項を記入・入力し、FAX・メールでNPO法人あい・ぽーとステーションへお申し込み下さい。

申し込み〆切12月14日（水）

- 主催 NPO法人あい・ぽーとステーション
《企画責任者》 大日向雅美（本法人代表理事、恵泉女学園大学大学院教授）
汐見 稔幸（本法人理事、白梅学園大学 学長）
- 後援（予定） 内閣府、厚生労働省、文部科学省、港区、こども環境学会

<企画趣旨>

全国自治体職員研修（住友生命保険相互会社助成）も今年度で5回目を迎えました。これまでの4回は、子育て支援に関する国の最新施策の動向を踏まえつつ、地域のニーズに則した施策の在り方を検討してまいりました。次世代行動計画の後期策定の年には、各自治体の課題を明らかにし、その具体化の在り方について学びあいました。また現政権下で新たな子育て支援策として打ち出された「子ども・子育て新システム」の方向を確認しつつ、子どもに真に必要な発達環境はいかに保障されるべきかについての検討も行ないました。

事業の総括の意味を含めた今年度ですが、折りしも、東日本大震災が発生し、復興に向けた厳しく、かつ長期的な取り組みが必要とされています。被災地の復興・創造を子ども・子育ての視点から再検討し、未曾有の被害にいかに向き合っていくべきか、関係者の叡智を結集することが求められています。

本年はこうした状況を念頭に置いて、「東日本大震災をきっかけとした子どもの視点からの復興・まちづくりについて考えること」をテーマにして、こども環境学会・港区と協力し、街づくり論、建築・心理・保育等の各領域との学際的な観点からの研修を行います。そして行政担当者と研究者・企業・NPO等市民団体・被災地との連携の促進を図ることを目指します。子どもの視点を重視する今回は、被災地と港区の子どもたちも参加し、共に議論を深めていきたいと願っております。

被災地をはじめ、各自治体で子育て支援を担当している行政職の方々、復興支援に高い関心をお持ちの各地の子育て・子ども支援関係者の皆さまのご参加をお待ちしております。

全国自治体職員研修世話人代表

NPO法人あい・ぽーとステーション代表理事：大日向雅美

（恵泉女学園大学大学院平和学研究科教授）

NPO法人あい・ぽーとステーション理事： 汐見稔幸

（白梅学園大学 学長）

<本企画の目的>

東日本大震災をきっかけとして、子どもの視点からの復興・まちづくりについて考える場とする。

「今までのまちづくりは、子どもの視点に立っていたか？」

「子ども中心のまちづくりとはどういうことか？」

「参加した自治体職員は、参加後その成果を各自の自治体にいかにか活かせるか？」

当日プログラム

開会・開会挨拶

(時間：10時30分～10時40分)

基調講演 ～子どもに優しいまちづくり～

(時間：10時40分～11時10分)

仙田 満 (こども環境学会代表理事/放送大学教授)

シンポジウム

(時間：11時10分～12時40分)

<基調講演>
神野 直彦 (東京大学名誉教授/政府税制調査会専門家委員会委員長)

<パネリスト>
小澤 紀美子 (こども環境学会会長/東海大学教授)
汐見 稔幸 (あい・ぽーとステーション理事/こども環境学会副会長・白梅学園大学学長)
大日向 雅美 (あい・ぽーとステーション代表理事・恵泉女学園大学大学院教授)

<キーワード> まちづくり、親の雇用、持続可能なまちづくり、子どもの視点

分科会&子ども参加ワークショップ

(時間：13時40分～15時10分)

分科会①

子どもの参画とまちづくり ～子どもにやさしいまち～

<分科会趣旨>
こども環境学会と千葉市の協働事業の紹介をまじえながら、子どもの視点に立ったまちづくりを考える。

<コーディネーター>
木下 勇 (千葉大学園芸学部緑地環境学科教授)
<話題提供>
松島 隆一 (千葉市こども未来局こども未来部こども企画課長)

分科会②

「農(いのち)」から考える持続可能なまちづくり

<分科会キーワード>
地方の自立、自立したまちづくり、持続可能な地方都市のあり方(葛巻町、栗山町等の事例、NPOの取り組み)
福島からの報告(生産者からの視点)、地産地消の給食など農業への支援・農業支援を通して子どもを支える(有機農業、食料問題など)

<コーディネーター・話題提供>
小澤 紀美子 (こども環境学会会長/東海大学教授)
澤登 早苗 (恵泉女学園大学大学院教授/子育てひろば「あい・ぽーと」キッズ交流ガーデン講師)
<話題提供>
鈴木 重男 (岩手県葛巻町 町長) <<予定>>

分科会③

「子ども・子育て新システム」に対応したまちづくり

<分科会趣旨>
保育所や幼稚園の復興や子育て・家族支援の視点での人材養成(人と人のつながり)を考え、まちづくりを考える。また、幼保一体化の議論の推移も考えながら、まちづくりを考える。

<コーディネーター>
汐見 稔幸 (あい・ぽーとステーション理事/こども環境学会副会長・白梅学園大学学長)
<話題提供>
大日向 雅美 (あい・ぽーとステーション代表理事・恵泉女学園大学大学院教授)

分科会④

「国際化と高層化と地域づくり」

<分科会趣旨>
国際化や都市化の進行が子どもたちの暮らしや成長にどのように影響するか、都市と地方では問題が異なると考えられやすいが、被災地の復興や地方都市の街づくりを進める上でこれまでと同様な方向性で街づくりを考えると、再開発等による災害に強い安全な街づくりが実現する一方でコミュニティの希薄化や地域の子育て力の低下など、子育て環境に様々な影響が生じるものと考えられる。

都市化の先進地区である港区では、国際化や都市化の進行と同時に地域コミュニティの希薄化、核家族化の進行など、家庭や地域の子育てに様々な課題が生じている。その一方でその課題を克服すべく新たな取り組みも実施している。都市化を目指している地方都市にとって、港区の事例をもとに各自治体がめざすべき新たな地域づくりをさぐる。

<コーディネーター>
仙田 満 (こども環境学会代表理事/放送大学教授)
<話題提供>
杉本 隆 (港区子ども家庭支援部長)

子ども参加ワークショップ

港区の小学生(5年生)・中学生(2年生)を中心に、30名程参加を募り、子どもが主役のワークショップを行う。

<内容>
「東日本大震災復興プラン国際提案競技」提案作品について、子ども同士で考える。(提案作品の発表、及びその作品についての意見交換)

<ゲスト>
「東日本大震災復興プラン国際提案競技」提案作品で12歳以下、18歳以下のカテゴリで最優秀賞・優秀賞に選出した提案者

<コーディネーター>
中山 豊 (こども環境学会専務理事・事務局長)

まとめ・フィナーレ

(時間：15時20分～16時30分)

各分科会の議論や子どもワークショップの成果を持ち寄り、メインテーマについての検討状況等について報告し、参加者それぞれが、何を持ち帰ることが出来るかなどを報告する。子ども参加ワークショップのゲスト(「東日本大震災復興プラン国際提案競技」最優秀作品・優秀作品提案者)にも登壇してもらい、提案内容について具体的に発表(提案に込めた想い等)をしてもらう。子どもの視点を大切にするというメインテーマについて、参加者全員でもう一度振り返る機会にする。

情報交換会(全プログラム終了後)

場所：子育てひろば「あい・ぽーと」 <<予定>>

※各プログラムの講師・リーダーは、やむを得ない場合、変更することもあります。

住友生命創業 100 周年記念事業『未来を築く子育てプロジェクト』助成事業
NPO 法人あい・ぼーとステーション<全国自治体職員向け講座(第 V 期)>

研修参加申込書

必要事項をご記入の上 FAX もしくは E-mail にてお送りください。

FAX 送信先:03-3499-8539

E-mail 送信先:station@ai-port.jp

※ メールでお申し込みの場合は、下記の申込用紙の必要事項を全て入力し、件名を「【全国自治体職員向け研修 申込】」としてお申し込み下さい。

ふりがな		性別	年齢
氏名			
ふりがな		所属部課名	
所属機関			
連絡先	〒 - 電話: FAX: Eメール:		
分科会(①~④)のご希望を ご記入下さい	第1希望	第2希望	

- 申込書を事務局で受理しましたら、1 週間以内に事務局より「申込受理」のご連絡をさせていただきます。「申込受理」の連絡がない場合は、恐れ入りますが、下記の事務局まで、お電話でお問い合わせ下さい。

* 参加費 (当日、受付にてお支払い下さい)*
2,000 円 (内訳:資料代@1,000 円、情報交換会費@1,000 円)
交通費・宿泊費は各自負担のこと。
昼食をご希望の方は、実費 [700 円程度] でご用意いたします。

<お問い合わせ・申込書送信先>

特定非営利活動法人 あい・ぼーとステーション
〒106-0031 東京都港区西麻布2-24-25-509
TEL 03-6657-8539
FAX 03-3499-8539
URL <http://www.ai-port.jp/>
E-mail station@ai-port.jp 担当:池田・古閑

【個人情報について】

本申込書記載の情報は、弊所にて責任をもって管理します。
研修に関するご案内の送付などの目的にのみ使用し、ご本人の同意無しに他の目的には使用しません。